

学 位 論 文 審 査 の 要 旨

学位申請者	堀川 あゆみ 【理学専攻 平成22年度生】	<div style="text-align: center;">要 旨</div> <p>提出論文は、冠動脈疾患治療に用いられる冠動脈用ステント素材として開発された、フッ素添加ダイヤモンドライクカーボン(F-DLC)膜の評価を主題とした内容である。その組成と構造の物理・化学的な分析・評価に加えて、血小板・白血球・血管内皮細胞を用いた抗血栓性・抗炎症性の解析、ならびに HUVEC を用いた細胞増殖性の測定などの生物学的分析と医学的評価等を含む内容である。</p> <p>審査の過程では、研究背景、測定方法や実験条件の詳細、実験結果の解釈の適切性、申請者が得た結果の生物学的・医学的重要性等について質問され、申請者はこれらの質問に的確に答え、実験結果と関連文献の調査に基づいた自己の見解を示した。また、論文中の記述の一部に関する誤りと緒言の改訂、章の構成変更、図の一部の改訂や説明の追加、展望の記述の追加などに関する指摘を受け、さらにプレゼン発表の改良に関する示唆を受けた。申請者はこれらの全てに対して修正や追加を行った。</p> <p>以上の経緯を踏まえ、本学位論文は、F-DLC 膜の性状の解析と将来の治療応用への可能性を示した点で、学術的意義ならびに医療応用に資する意義も含むことを、審査委員会で審議し確認した。</p> <p>なお、本論文の内容の一部に関しては、すでに申請者を第一著者として、欧文国際誌 (<i>Sensors and Materials</i>, 29, 795-803, 2017) に掲載されている。本論文の内容の一部に関しては、既に2つの国内の学会において、本人がポスターにより発表している。</p> <p>以上のような実績からも明らかなように、本人はこの分野における十分な研究能力を有するだけでなく、英語論文作成を行う語学力と討論能力を持つ点も評価できる。</p> <p>本審査委員会は、8月23日(木)18時から、お茶の水女子大学理学部、化学第一講義室にて行われた最終試験における本人の発表内容と質疑応答の結果も考慮して、本論文が本学大学院人間文化創成科学研究科における博士(理学)(Ph.D. in Bioscience)の学位を受けるに相応するものと判断し、合格とした。</p>
論 文 題 目	血管内治療デバイスへの応用に向けたフッ素添加ダイヤモンドライクカーボン膜の評価	
審 査 委 員	(主査) 教授 小川 温子	
	教授 相川 京子	
	教授 本田 善一郎	
	准教授 矢島 知子	
	東海大学 医学部附属八王子病院 教授 長谷部 光泉	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 (可 ・ 否)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <div style="border-left: 2px solid black; border-right: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> </div> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	